

市民要望に応えた 予算配分を！



平間 正治
(清風クラブ)

◆平成28年度予算編成について
問 平成28年度予算編成については、各部長のマネジメントの下に自律的な予算編成を行う「包括予算制度」を導入したが、その成果と課題は。

答 事業そのものの必要性を各事業部において判断し、事業を廃止、又は縮小することができた。しかし、一般財源の減少により、各事業部では大変厳しい編成作業となった。今後、一般財源の配分方法など研究していく。

問 各事業部への一般財源の配分枠が減ったため、そのしわ寄せが「敬老行事補助金」などの減額につながったのではないか。

答 事業の選択と集中により、全体としては経費の節減を図ることができた。一方で、ソフト事業の一部については、一般財源縮小の影響が及んだものと認識している。

◆塩尻駅北土地区画整理事業について

問 人口減少時代にあって、

塩尻市の交通の利便性などを活かした優良な住宅環境を提供し、人口増に取り組むことは必要不可欠なことと考えるが、行政区の問題、通学先の校舎整備など、今から取り組むべき課題にどう対応するか。

答 事業地は、大門七区と広丘郷原区にまたがる。所属する行政区は関係区の話合いで決めるが、調整が円滑に進むよう協力していく。

また、通学先は桔梗小となるが、現在、教室に余裕はなく通学区の見直しも含め、今後検討したい。



土地区画整理事業予定地一帯

緑を守り楽しい スポーツを



永井 泰仁
(自民党)

◆公職選挙法改正の対応は
問 選挙当日、市民がどこでも投票できる共通投票所の設置と投票率を高める方策は。

答 市内に投票所が4箇所あり、全てオンラインで繋ぐことは非常にハードルが高い。投票率を高める方法として、既存の期日前投票所4箇所に加えて、新たに塩尻東地区センターに設置する。高校生は各校で、公選法の学習や模擬投票の体験を通して、意識の高揚を図っている。

◆平地に迫る松くい虫対策を
問 広丘地区の歴史的な松林が、松くい虫被害により消えてしまつ危機にあるが、防止する考えは。

答 国から松くい虫の発生地域として認定されれば、森林である丘中学校周辺の松林を守るための「樹幹注入」等も補助事業の対象とし、広丘小学校は市単独事業となるが、実施方法を検討したい。

◆民間主導のスポーツ施設
問 施設概要、規模、運営方

法及び利用者は。

答 民間事業者が、堅石原工業団地内の跡地に、フットボールパークとして4月上旬に開設するもの。概要は少年少女の8人制サッカーコート1面、その中にフットサルコート3面を整備し、ナイター設備とクラブハウスが設置される。事業運営は、全国で40以上施設経営している会社が行うとの発表があり、また松本山雅FCのサッカースクールの練習場やイベント会場として、地域や子どもに親しまれ、スポーツ振興に繋がることを期待し歓迎している。



平地に迫る松くい虫対策